

近年の山口県日本海沿岸に出現した鯨類

河野光久

Whales occurred at the Japan Sea Coast of Yamaguchi Prefecture in Recent Years

Mitsuhisa KAWANO

Seven species and twenty-one individuals of whales occurred at the Japan Sea coast of Yamaguchi Prefecture during 1996-2006. Minke whales (*Balaenoptera acutorostrata*) were most abundant species (12 individuals) of them. They occurred only in cold seasons (autumn to spring). It was considered that they would occur at this area on the way to the spawning ground (low latitude regions) or to the feeding ground (high latitude regions).

Key words : Whales; *Balaenoptera acutorostrata*; Japan Sea Coast; Yamaguchi Prefecture

鯨類は海洋生態系における高次捕食者として食物連鎖の構成に重要な役割を担っている。また、多くの鯨類が直接的に餌として漁業対象の海洋生物を多量に消費する他、間接的に漁業対象の海洋生物の餌生物を多量に消費する¹⁾ことにより、漁業活動と競合している²⁾。本研究の対象海域である山口県日本海沿岸域は漁業活動の大変盛んな海域であるので、本海域で鯨類が生態系や漁業にどのような影響を与えているのか大いに注目される場所である。しかし、近年の本海域における鯨類の出現については、下関市立しものせき水族館海響館が1998～2005年に同館に寄せられた情報をとりまとめて報告している³⁾だけである。しかも、同報告³⁾では小型ハクジラ類（いわゆるイルカ類）の出現に関する報告が大部分を占め、ヒゲクジラ類については2003年のミンククジラに関する1事例が報告されているのみである。しかし実際には、ミンククジラはほぼ毎年のように定置網で混獲され、その情報は山口県水産研究センターに寄せられている。

本研究は1996～2006年に山口県水産研究センターに

寄せられた鯨類の出現に関する情報を整理し、出現種、体長、出現時期および出現場所を明らかにしたので、報告する。

材料および方法

山口県日本海沿岸における鯨類の出現に関する情報は、1996～2006年に県内の漁業協同組合、長門市役所、山口県萩水産事務所から山口県水産研究センターに寄せられたものである。これらの情報の内、イルカ類に関するものは極めて少なかったこと、およびイルカ類に関する情報はすでに下関市立しものせき水族館海響館により報告されている³⁾ことから、本報告ではイルカ類を除く鯨類について、出現種、体長、出現時期および出現場所をとりまとめた。

結 果

1996～2006年に山口県日本海沿岸 (Fig. 1) に出現した鯨類は、ミンククジラ *Balaenoptera acutorostrata*、オウギハクジラ属 *Mesoplodon* sp.,

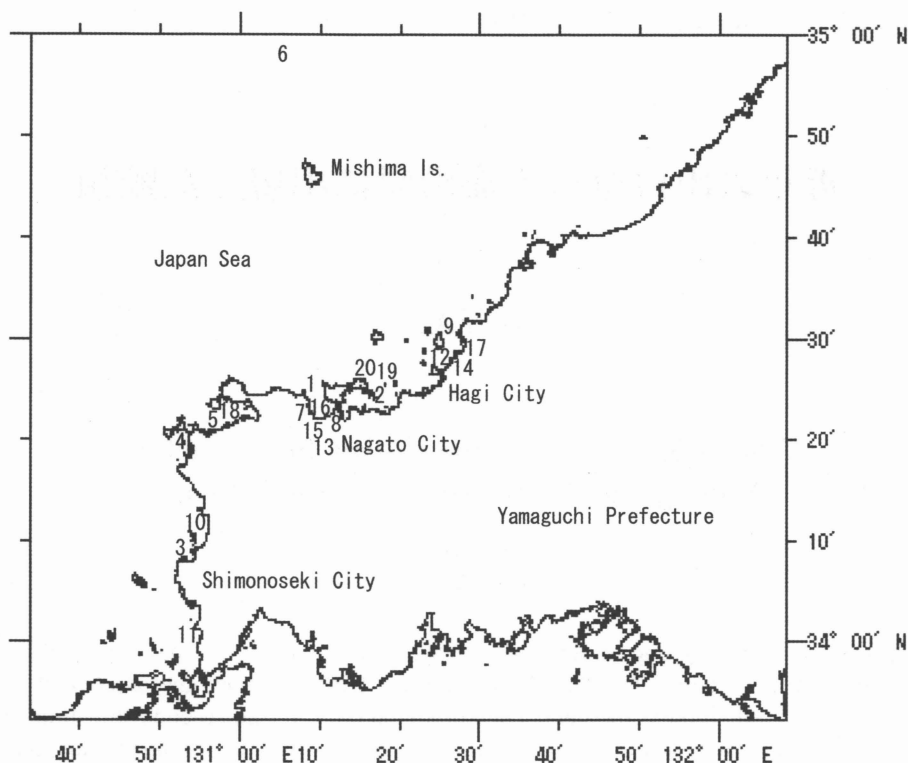


Fig. 1 Map showing the locations where whales occurred during the period 1996-2006. Numerals indicate the sample number shown in Table 1.

マッコウクジラ *Physeter macrocephalus*, ニタリクジラ *Balaenoptera edeni*, オガワコマッコウ *Kogia simus*, ツノシマクジラ *Balaenoptera omurai*, ヒゲクジラ 亜目不明種 MYSTICETI sp. の 7 種 21 頭で、

この内ミンククジラが 12 頭と最も多かった (Table 1)。

出現個体の体長範囲は 2 ~ 17 m で、この内小型のミンククジラが大部分を占めた (Fig. 2)。ミンククジラの体長は 2 ~ 6 m で、特に 4 ~ 5 m の個体が多かつ

Table 1 Whales occurred at the Japan Sea coast of Yamaguchi Prefecture from 1996 to 2006

No.	Date	Location*	Species	Condition	N. of individuals
1	April 15, 1996	Kiwado, Nagato city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
2	May 15, 1996	Kayoi, Nagato city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
3	April 18, 1997	Kawatana, Shimonoseki city	<i>Mesoplodon</i> sp.	Stranding	1
4	September 11, 1998	Amagase, Shimonoseki city	<i>Balaenoptera omurai</i>	Swimming	1
5	October 1, 1998	Yuya Bay, Nagato city	<i>Physeter macrocephalus</i>	Swimming	1
6	October 5, 1999	Off Mishima, Hagi city	<i>Balaenoptera edeni</i>	Swimming	2
7	February 27, 2001	Tadanohama, Nagato city	MYSTICETI sp.	Stranding	1
8	April 2, 2001	Mouth of Fukawa River, Nagato city	<i>Kogia simus</i>	Stranding	1
9	November 26, 2001	Ohshima, Hagi city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
10	November 12, 2002	Yutama, Shimonoseki city	<i>Mesoplodon</i> sp.	Stranding	1
11	February 5, 2003	Yoshimi, Shimonoseki city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Stranding	1
12	April 3, 2004	Koshigahama, Hagi city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
13	April 29, 2004	Kiwado, Nagato city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
14	February 10, 2005	Koshigahama, Hagi city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
15	February 28, 2005	Kiwado, Nagato city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
16	December 25, 2005	Senzaki, Nagato city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
17	March 8, 2006	Ohiminato, Hagi city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Catch by set net	1
18	April 11, 2006	Yuya Bay, Nagato city	<i>Mesoplodon</i> sp.	Swimming	1
19	May 25, 2006	Kayoi, Nagato city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Stranding	1
20	November 21, 2006	Kayoi, Nagato city	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	Stranding	1

*Each location is shown in Fig.1 with the sample number.

た (Fig. 2)。体長17mの個体はマッコウクジラ, 10mの個体はツノシマクジラであった (Fig. 2)。

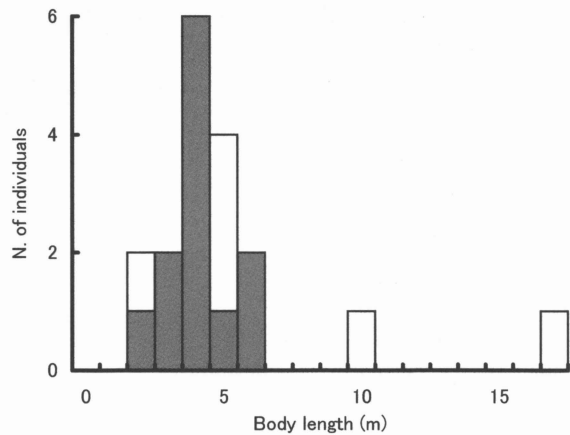


Fig. 2 Composition of body lengths of whales occurred at the Japan Sea coast of Yamaguchi Prefecture, 1996-2006. Solid regions show minke whales.

鯨類が出現した月は2~5月および9~12月で, 6~8月の夏季には出現しなかった (Fig. 3)。この内ミンククジラは2~5月および11~12月に出現した (Fig. 3)。

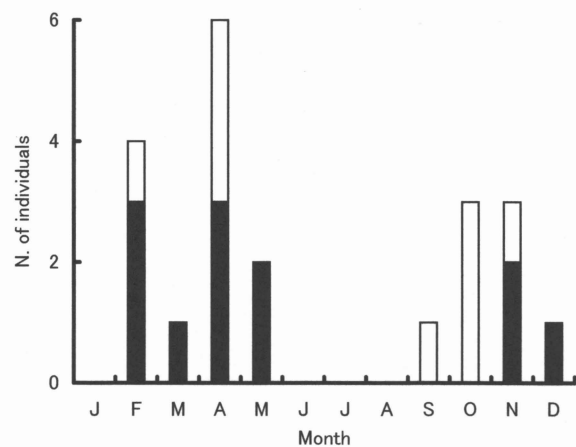


Fig. 3 Number of individuals of whales occurred at the Japan Sea coast of Yamaguchi Prefecture by month. Solid regions show minke whales.

出現した場所を市町村別にみると, 長門市沿岸が最も多く11頭, 次いで萩市沿岸の6頭, 下関市沿岸の4頭の順であった (Table 1, Fig. 1)。

発見された時の状態は, 定置網で混獲されたものが最も多く9頭, その他に海岸に漂着したものが7頭, 遊泳中のものが5頭であった (Table 1)。

考 察

奈須⁴⁾によれば, 長門市およびその周辺の北浦沿岸では江戸時代に捕鯨が盛んに行われ, 1698~1889年には10~4月にセミクジラ *Balaena glacialis*, コクジラ *Eschrichtius robustus*, ザトウクジラ *Megaptera novaeangliae*, ナガスクジラ *Balaenoptera physalus* などの大型 (体長10m以上) の鯨類が漁獲されていた。

本研究では, 近年これらの大型の鯨類はまったく出現せず, 小型のミンククジラが主体となって出現していることを明らかにした (Table 1)。ミンククジラの出生体長は2~3m, 離乳体長は4~5m, 性成熟体長は7~8mである⁵⁾こと, および出現したミンククジラの体長は2~6mで4~5mの個体が多かったことから, 出現したミンククジラは出生後間もない個体から性成熟前の個体であり, 特に離乳直後の個体が多かったと考えられる。

ミンククジラは山口県日本海沿岸では2~5月および11~12月に出現し, 1月および6~10月には出現しなかった (Table 1, Fig. 3)。ミンククジラを含むヒゲクジラ類は一般に冬季は低緯度の暖海域で繁殖行動を行い, 夏季には餌生物の豊富な高緯度海域へ移動するという, 1年周期の回遊を行う⁵⁾ことから, 山口県日本海沿岸への出現は, 低緯度の繁殖海域へ南下する途中と高緯度の索餌海域へ北上する途中に見られたものと推定される。

謝 辞

貴重な情報を提供していただいた県内漁業協同組合, 長門市役所ならびに山口県萩水産事務所の担当者の皆様へ感謝する。

文 献

- 1) Kasamatsu F. and S.Tanaka (1992): Annual Changes in Prey Species of Minke Whales Taken off Japan 1948-87. *Nippon Suisan Gakkaishi*, 58(4), 637-651.
- 2) 田村 力・大隅清治 (1999): 世界の海洋における鯨類の食物年間消費量. *鯨研通信*, (402), 10-22.
- 3) 下関市立しものせき水族館海響館 (2006): 鯨類のストランディング及び混獲, その他の事例に関する報告 (1998年~2005年6月30日までの記録より). 1-19.

4) 奈須敬二 (1992) : 江戸時代の山口県川尻における捕獲鯨の生物学的考察. 西日本鯨研究会報, (6), 2-5.

5) 加藤秀弘 (1990) : ヒゲクジラ類の生活史, 特に南半球産ミンククジラについて. 海の哺乳類 (宮崎信之・粕谷俊雄編), サイエンティスト社, 東京, 128-147.